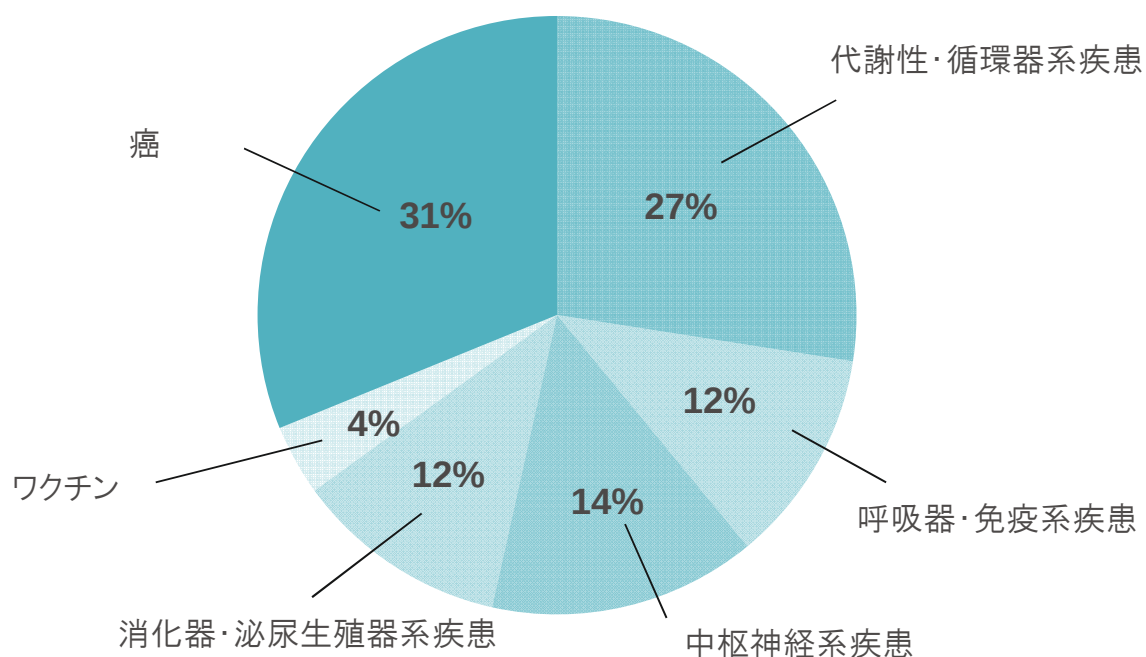


領域別研究開発費比率(2012-14年度平均)



重点領域： 代謝性・循環器系疾患



代謝性・循環器系疾患（1）



循環器・代謝性疾患

ACTOS

Blipress

EDARBI / AZILVA

SYR-322 (alogliptin)

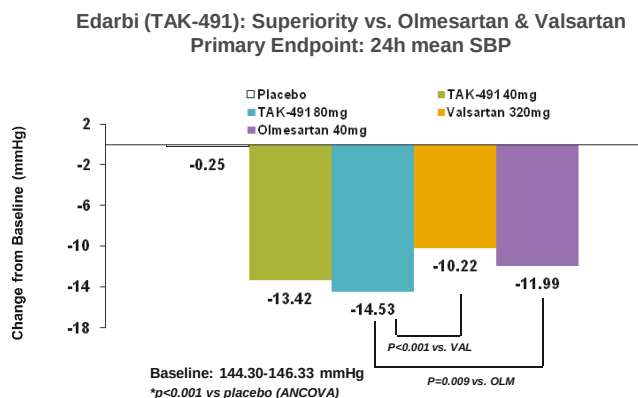
Contrave

TAK-875

EDARBI / AZILVA

主要データ／開発状況

- 既存の高血圧症治療薬と比較し、その優れた臨床プロファイルにより、ディシジョン・リソーシズ社より、高血圧症治療におけるクリニカル・ゴールド・スタンダードに認定
- オルメサルタンおよびバルサルタンに対し優位性を有するEdarbiを米国市場に投入。Azilvaは2012年1月に日本で承認取得



代謝性・循環器系疾患（2）



循環器・代謝性疾患

ACTOS

Blipress

EDARBI / AZILVA

SYR-322 (alogliptin)

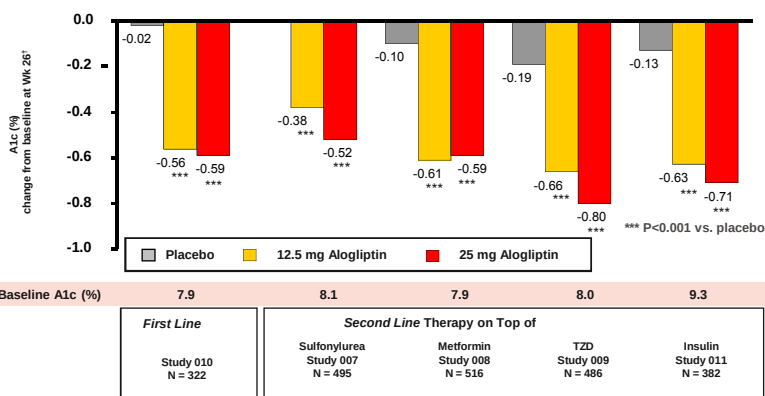
Contrave

TAK-875

SYR-322 (alogliptin)

主要データ／開発状況

- プロスペクティブ・アウトカム試験(EXAMINE試験)により、心血管系リスク評価データを有することになる初のDPP-4阻害薬
 - 2012年4月25日、alogliptin およびpioglitazoneとの配合剤について、FDAより審査結果通知を受領。市販後臨床データおよび現在実施中の臨床試験データを追加提出することで対応予定
 - 欧州では今年度中に申請予定
 - 日本ではalogliptin およびpioglitazoneとの合剤を上市済



代謝性・循環器系疾患（3）



循環器・代謝性疾患

ACTOS

Blipress

EDARBI /
AZILVA

SYR-322
(alogliptin)

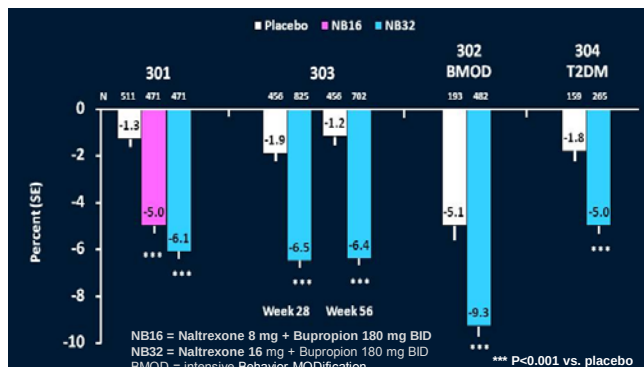
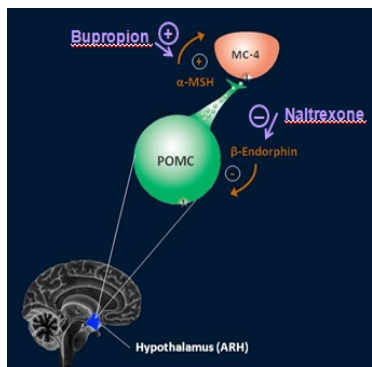
Contrave

TAK-875

Contrave

主要データ／開発状況

- 体重減少および体重減少維持作用を有する肥満症治療薬として開発中
- ナルトレキソン塩酸塩とブプロピオン塩酸塩の徐放性合剤
- FDAガイダンス要件を満たすための心血管系リスク評価アウトカム試験を実施中
- Orexigen Therapeutics社との連携



代謝性・循環器系疾患（4）



循環器・代謝性疾患

ACTOS

Blipress

EDARBI /
AZILVA

SYR-322
(alogliptin)

Contrave

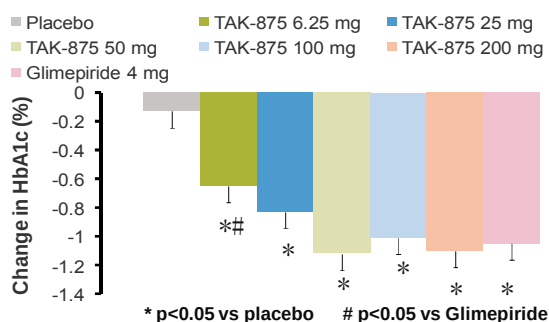
TAK-875

TAK-875

主要データ／開発状況

- 2型糖尿病治療におけるファーストインクラスとなるGPR40作動薬
- 良好な血糖低下作用と低血糖リスクを減少
- 米国、欧州および日本にて臨床第3相試験を実施中
- 2015年度上市予定

臨床第2相試験結果



全用量において、
glimepirideと比較して低血糖の発現率を顕著に低下させた（TAK-875:2.0%、
glimepiride:16.1%）

重点領域： 呼吸器・免疫系疾患



DAXAS

Veltuzumab

MT203
(namilumab)

呼吸器・免疫系疾患（1）



呼吸器・免疫系
疾患

DAXAS

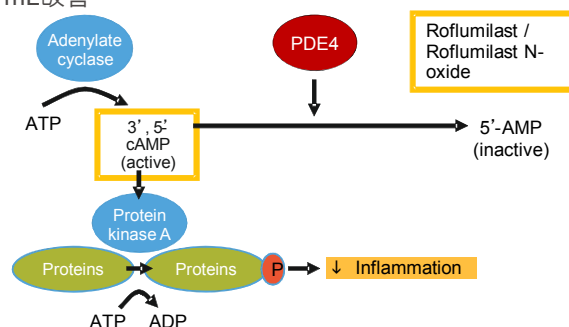
Veltuzumab

MT203
(namilumab)

DAXAS

主要データ／開発状況

- 承認効能：
 - EU： 重度COPD（慢性閉塞性肺疾患）の維持療法
 - 米国： 重度COPDの症状増悪リスクを軽減
- 症状増悪の軽減
 - 中等度、および重度の症状増悪を21%軽減*（DAXAS+LABA**とLABA単独との比較）
- FEV1の改善***
 - Tiotropiumより80 mL改善



*中等度増悪（糖質コルチステロイドの全体的投与を必要とする場合）
または重度増悪（入院または死亡につながる場合）

** 長時間作用型β2刺激薬

*** 気管支拡張薬投与前FEV1（1秒努力呼吸気肺活量）

注）米国では、Forest Laboratoriesが販売

呼吸器・免疫系疾患（2）



呼吸器・免疫系
疾患

DAXAS

Veltuzumab

MT203
(namilumab)

Veltuzumab

主要データ／開発状況

- CD20を標的とするB-細胞枯渇を通じて作用
- 皮下投与
- 関節リウマチ(RA)を対象としたグローバル臨床第2相試験を実施中
- RA試験におけるレスポンス評価を検討中
- RAを対象とした52週間の臨床第3相試験を2014年中頃に開始予定
- Immunomedics社との連携

呼吸器・免疫系疾患（3）



呼吸器・免疫系
疾患

DAXAS

Veltuzumab

MT203
(namilumab)

MT203 (namilumab)

主要データ／開発状況

- 可溶性サイトカインと結合することによってGM-CSFシグナル経路を阻害するヒトモノクローナル抗体

臨床第1相試験－PRIORA

- 関節リウマチ(RA)患者24例を対象とした2つの皮下投与用量を評価する反復漸増投与試験
- 他効能での開発を視野に入れ実施

臨床第2相試験－NEXUS

- 試験開始は2013年第2四半期予定
- 主要評価項目：DAS28*(CRP)のベースラインからの変化量
- Micromet社との連携**

* DAS28：28の関節で測定した疾患活動性スコア

** 2012年1月26日、Amgen社がMicromet社を買収することで合意したことを発表。
同年3月7日、買収手続きの完了に必要なすべての条件を満たしたことを発表。

重点領域： 中枢神経系疾患



Rozerem

Reminyl

Lu AA21004

Lurasidone

TAK-375SL
(ramelteon)

AD-4833/
TOMM40

20 | R&Dミーティング | 2012年5月11日

武田薬品工業株式会社

中枢神経系疾患（1）



中枢神経疾患

Rozerem

Reminyl

Lu AA21004

Lurasidone

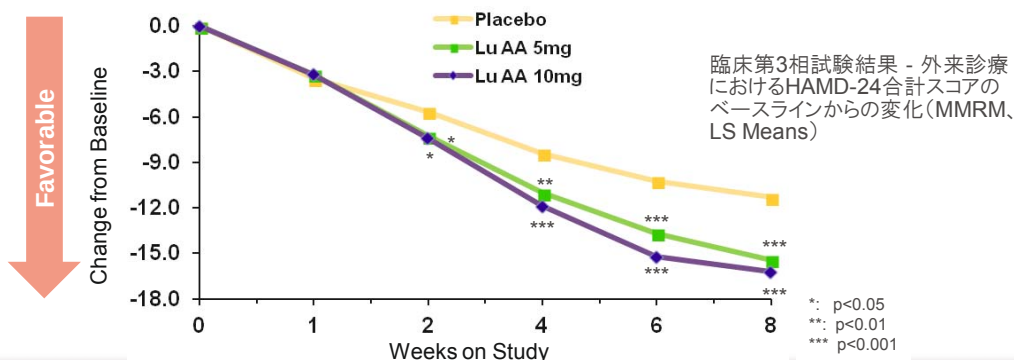
TAK-375SL
(ramelteon)

AD-4833/
TOMM40

Lu AA21004

主要データ／開発状況

- 5HT₃、5HT₇受容体拮抗作用、5HT_{1B}受容体部分作動作用、5HT_{1A}受容体作動作用および5HTトランスポーター阻害作用が確認されており、うつ病の治療に関して開発中の新規多重作用メカニズム型抗うつ薬
- 短期および長期の安全性、忍容性が良好で、うつ病の認知機能障害改善の可能性
- 申請予定：米国－2012年後半；日本－2013年
- H. Lundbeck A/S社との連携



21 | R&Dミーティング | 2012年5月11日

武田薬品工業株式会社

中枢神経系疾患 (2)



中枢神経系疾患

Rozerem

Reminyl

Lu AA21004

Lurasidone

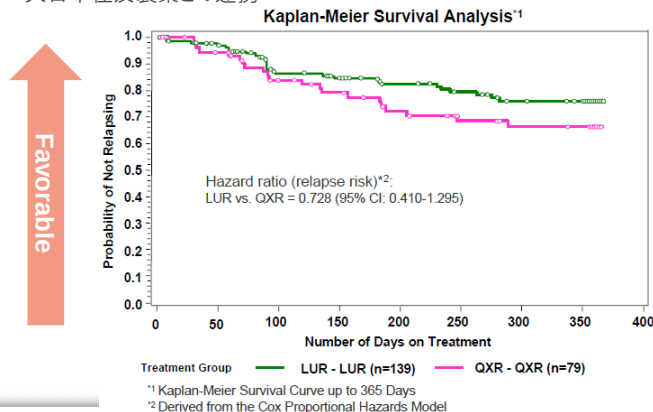
TAK-375SL
(ramelteon)

AD-4833/
TOMM40

Lurasidone

主要データ/プログラム状況

- D_2 、 $5HT_{2a}$ 、 $5HT_7$ 受容体拮抗作用、 $5HT_{1A}$ 部分作用作用を有し、ムスカリンM1およびH1受容体に対する親和性が低い非定型抗精神病薬
- 統合失調症治療薬として米国で承認(2010年10月)
- Seroquel XR (QXR: 非定型抗精神病薬)と比較した52週の継続投与試験にて、統合失調症に対する持続的な効果が確認された
 - Seroquel XRと比較して再発リスクが27%減少
 - Seroquel XRと比較して入院リスクが57%減少
- 統合失調症治療薬での欧州申請を2012年後半を予定
- 双極性I型うつ病を対象とした2件の臨床第3相試験において主要評価項目および副次的評価項目を達成
- 大日本住友製薬との連携



臨床第3相試験:
52週間の二重盲検継続投与試験

22 | R&Dミーティング | 2012年5月11日

武田薬品工業株式会社

中枢神経系疾患 (3)



中枢神経系疾患

Rozerem

Reminyl

Lu AA21004

Lurasidone

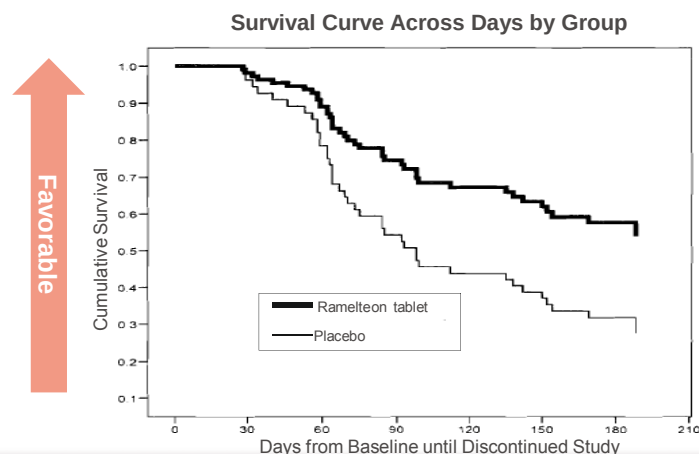
TAK-375SL
(ramelteon)

AD-4833/
TOMM40

TAK-375SL (ramelteon)

主要データ/プログラム状況

- メラトニン受容体(MT_1/MT_2)作用薬であるramelteonの舌下剤
- 双極性障害の急性抑うつ症状の治療薬および双極性障害の維持治療薬として開発中
- 2011年12月、臨床第2相試験を開始



TAK-375+SOC^{*}は、24週間の試験において、SOC単剤と比較し、約50%以上、安定状態を維持した。

^{*}SOC: 標準治療

E. Norris et al. 2011

23 | R&Dミーティング | 2012年5月11日

武田薬品工業株式会社



中枢神経系疾患

Rozerem

Reminyl

Lu AA21004

Lurasidone

TAK-375SL
(ramelteon)

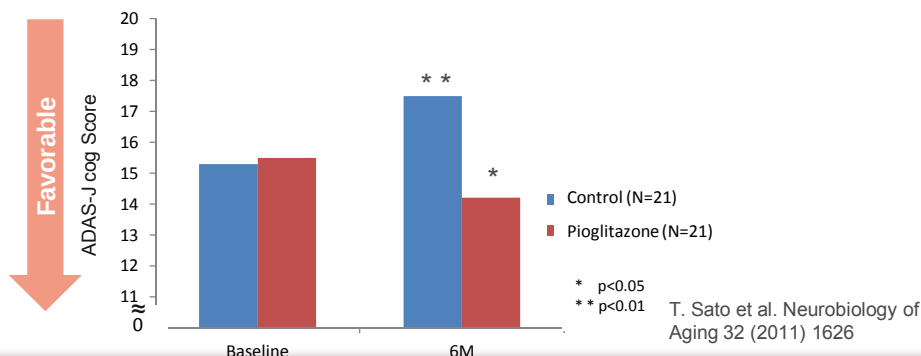
AD-4833/
TOMM40

AD-4833 (pioglitazone) /TOMM40

主要データ／開発状況

- TOMM40は、今後5年以内にアルツハイマー病(AD)を発現するリスクの高い患者を特定しうる有望なバイオマーカー
- PPAR γ 作動薬であるAD-4833(pioglitazone)の新規製剤が発症リスクの高い健常 高齢者における軽度認知障害(MCI)の発現を遅らせる可能性
- 2012年度下期に臨床第3相試験開始予定
- Zinfandel Pharmaceuticals社との連携

アルツハイマー病(軽度)に対するピオグリタゾンの有効性
ベースラインからの神経心理学的変化



重点領域： 消化器・泌尿生殖器系疾患



Takepron/ Prevacid
Dexilant

Peginesatide

Ferumoxytol

MLN0002
(vedolizumab)

TAK-438

Teduglutide

消化器・泌尿生殖器系疾患(1)



消化器・泌尿生殖器系疾患

Prevacid/Takepron
Dexilant

Peginesatide

Ferumoxytol

MLN0002
(vedolizumab)

TAK-438

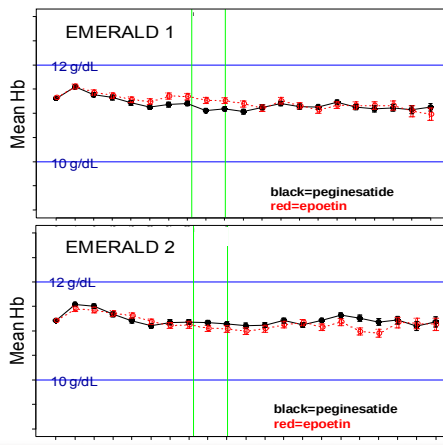
Teduglutide

Peginesatide

主要データ／開発状況

- 透析期患者(成人)を対象とした腎性貧血に対するエリスロポエチン受容体作動薬
- 内因性ヒトEPOとは免疫学的に異なる
- 医師と患者に月一回投与の選択肢を提供
- 2012年3月27日米国承認取得、2012年2月欧州申請済
- Affymax社との連携

透析患者における有効性 Hb値の維持



主要評価項目

評価期間(第29~36週)におけるベースラインからのHb値の平均変化量:

	peginesatide	epoetin
EMERALD 1	-0.2 g/dL	-0.1 g/dL
EMERALD 2	-0.1 g/dL	-0.2 g/dL

— 統計学的に非劣性を証明

副次的評価項目

評価期間においてHb値が目標範囲内(10.0-12.0 g/dL)に維持された患者の割合:

	peginesatide	epoetin
EMERALD 1	330 (63%)	193 (72%)
EMERALD 2	344 (64%)	180 (66%)

消化器・泌尿生殖器系疾患(2)



消化器・泌尿生殖器系疾患

Prevacid/Takepron
Dexilant

Peginesatide

Ferumoxytol

MLN0002
(vedolizumab)

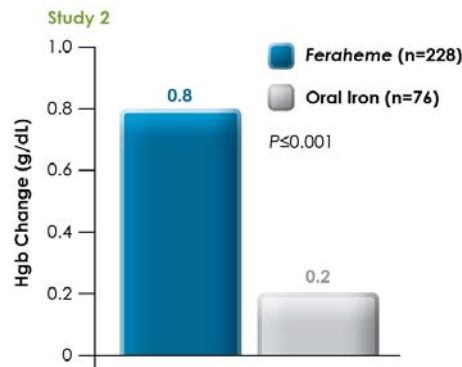
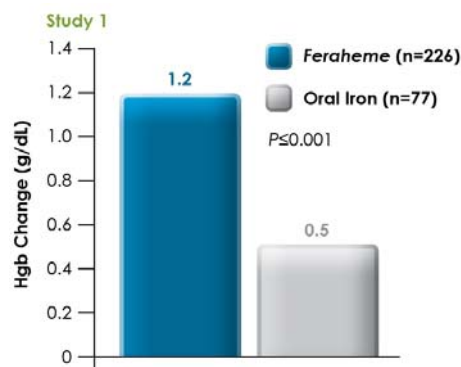
TAK-438

Teduglutide

Ferumoxytol

主要データ／開発状況

- 鉄欠乏性貧血治療のための静脈用鉄製剤
- 鉄1 gを、3日~8日間隔をあげ、2回に分けて投与可能
- 経口鉄製剤と比較してHbレベルを有意に増加
- 腎性貧血フランチाइズの強化
- 2012年4月にEMA*のCHMP**において販売承認を推奨する見解
- 欧州にて2012年下期に承認予定
- AMAG Pharmaceuticals社との連携



* 欧州医薬品庁
** 欧州医薬品評価委員会

消化器・泌尿生殖器系疾患(3)



消化器・泌尿生殖器系疾患

Prevacid/Takepron
Dexilant

Peginesatide

Ferumoxytol

MLN0002
(vedolizumab)

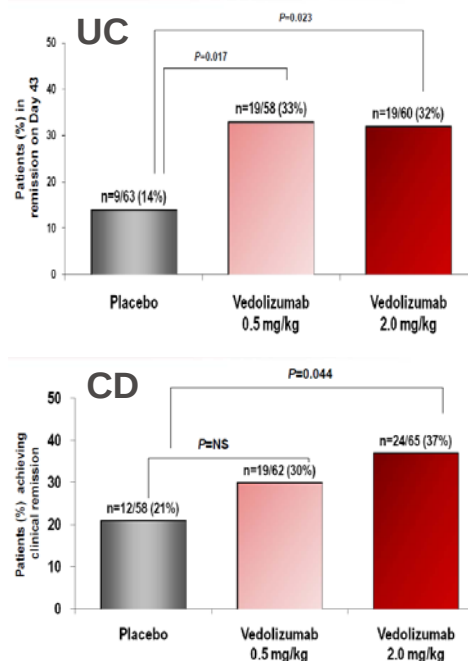
TAK-438

Teduglutide

MLN0002 (vedolizumab)

主要データ／開発状況

- 腸管選択的モノクローナル抗体：潰瘍性大腸炎(UC)およびクローン病(CD)に関する白血球上の $\alpha 4\beta 7$ インテグリンを標的
- 臨床第2相試験：0.5および2 mg/kgで潰瘍性大腸炎(UC)、2 mg/kgでクローン病(CD)を寛解
- グローバル臨床第3相試験(中等度ないし重度のUCおよびCDを対象)：これまで検討された最大規模の炎症性腸疾患プログラム
- 臨床第3相GEMENI I試験において主要評価項目(UC導入期改善および維持期寛解)を達成
- 臨床第3相GEMNI II試験において主要評価項目(CD導入期および維持期寛解)を達成



消化器・泌尿生殖器系疾患(4)



消化器・泌尿生殖器系疾患

Prevacid/Takepron
Dexilant

Peginesatide

Ferumoxytol

MLN0002
(vedolizumab)

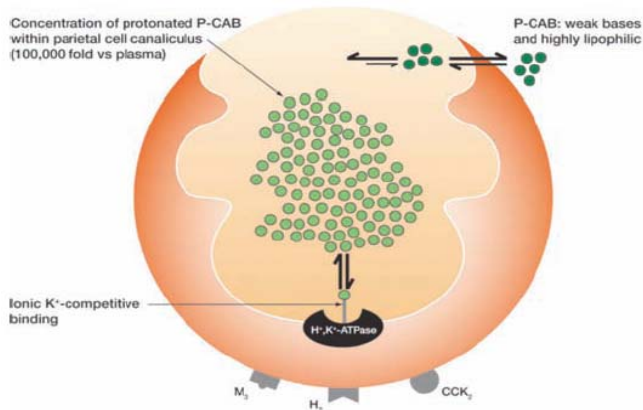
TAK-438

Teduglutide

TAK-438

主要データ／開発状況

- ファーストインクラスとなるカリウムイオン競合型アシッドブロッカー(PCAB) 日本において臨床第3相試験を実施中
- プロトンポンプ阻害薬(lansoprazole)と比較して迅速な作用発現
- 壁細胞への高い集積性、強力な胃酸分泌抑制作用、長時間の作用持続
- プロトンポンプ阻害薬とは異なり、食事の影響を受けない





消化器・泌尿生殖器系疾患

Prevacid/Takepron
Dexilant

Peginesatide

Ferumoxytol

MLN0002
(vedolizumab)

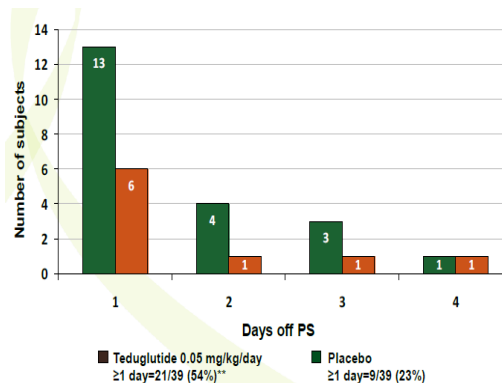
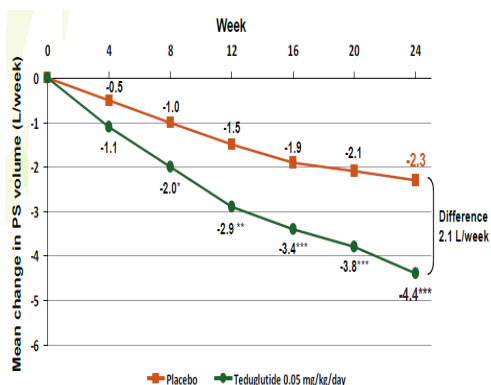
TAK-438

Teduglutide

Teduglutide

主要データ／開発状況

- ファーストインクラスとなるGLP2アナログ
- 短腸症候群における腸管吸収の改善
- 臨床第3相試験：短腸症候群患者における非経口栄養(PN)の用量、および投与日数／週数を減少
- 欧州申請の審査中 - 2012年中の承認見込み
- NPS Pharmaceuticals社との連携



重点領域： ワクチン



Pediatric Vaccines

TAK-816

TAK-361S

重点領域： 癌



VELCADE

Lupron

SGN-35

TAK-700
(orteronel)

MLN8237
(alisertib)

MLN9708
(ixazomib citrate)

32 | R&Dミーティング | 2012年5月11日

武田薬品工業株式会社

GROW:

既存資産の価値最大化および新製品上市の促進



VELCADE® (bortezomib) [†]	Frontline Mantle Cell Lymphoma			PHASE III
	Diffuse Large B-Cell Lymphoma		PHASE II	
Vectibix® [†] (panitumumab)	Head and Neck Cancer			PHASE III
SGN-35 (brentuximab vedotin) [‡]	Post-transplant Hodgkin Lymphoma			PHASE III
	Relapsed CTCL ^{††}			PHASE III
	Relapsed or Refractory Hodgkin Lymphoma		PHASE II	
	Relapsed or Refractory sALCL [†]		PHASE II	
	Frontline sALCL [†]	PHASE I		
	Frontline Hodgkin Lymphoma	PHASE I		
TAK-700 (orteronel)	Metastatic CRPC ^{**} – chemo naïve			PHASE III
	Metastatic CRPC ^{**} – post-docetaxel			PHASE III
	Non-Metastatic CRPC ^{**}		PHASE II	
AMG 706 (motesanib) [§]	Non-squamous Non-small Cell Lung Cancer			PHASE III
AMG 386 ^{††}	Ovarian Cancer			PHASE III
	Solid Tumors		PHASE I	
AMG 479 ^{††} (ganitumab)	Metastatic Pancreatic Cancer			PHASE III
	Solid Tumors		PHASE I	
MLN8237 (alisertib)	Peripheral T Cell Lymphoma			PHASE III
	Solid Tumors		PHASE II	
MLN9708 (ixazomib citrate)	Hematologic Malignancies		PHASE II	
	Solid Tumors		PHASE I	
MEPACT	Non-metastatic osteosarcoma			PHASE III
TAK-700 (orteronel)	Prostate cancer, breast cancer			PHASE III

* In-Licensed

† Japan only development and marketing

§ Motesanib is being developed in collaboration with Amgen, Incorporated

† SGN-35 is co-developed by Millennium and Seattle Genetics, Inc.

†† VELCADE® is co-developed by Millennium and Johnson & Johnson

Pharmaceutical Research & Development

** Castration Resistant Prostate Cancer

† Systemic Anaplastic Large Cell Lymphoma

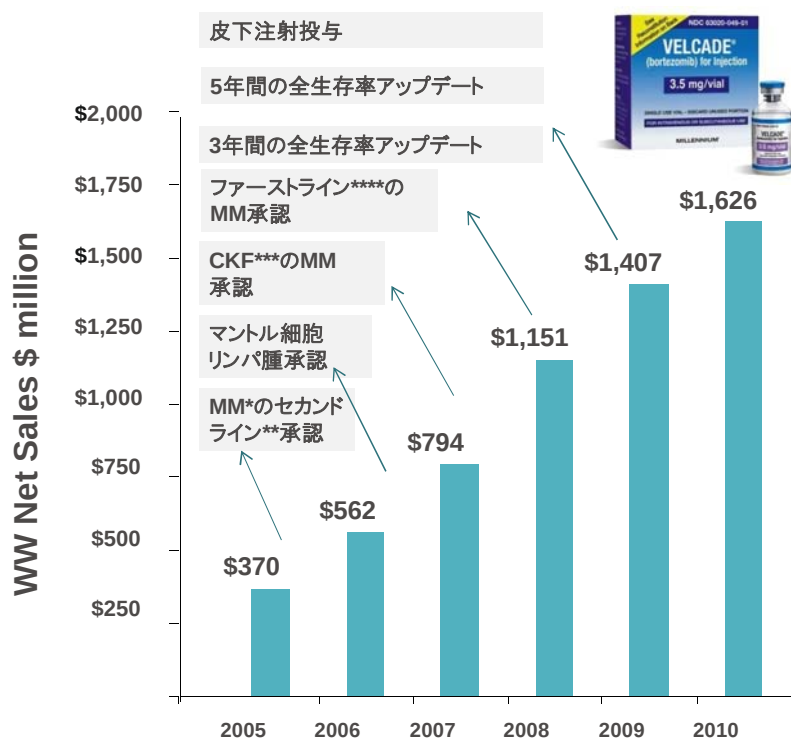
†† Cutaneous T-Cell Lymphoma

All registered trademarks are the sole property of their respective owners. 05/02/12

33 | R&D Meeting | May 11, 2012

武田薬品工業株式会社

戦略的な臨床開発計画を通じて 効果的なライフサイクルマネジメントを実現



- 2011年度、5年間のOSおよび皮下投与(SC)が米国のラベルに追加
- グレード3/4の末梢神経障害の発現率はVELCADE皮下投与で6%であったのに対し、静脈投与では16%
- 2011年度米国市場：対前年伸長率 24%
- マンツル細胞リンパ腫に対するファーストラインの臨床第3相試験を実施中

*多発性骨髄腫、**第二選択薬、***慢性腎不全、****第一選択薬

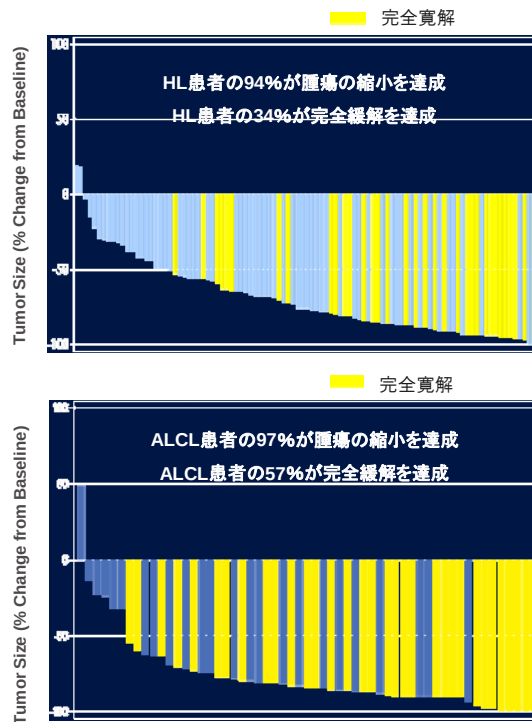
LeuprorelinおよびVectibix： 既存資産の最大活用



- Leuprorelinは世界中で最も広く用いられているLHRHアゴニスト
 - 1996年以降1920万人以上の患者さんの治療に貢献
 - 2012年2月、日本で前立腺癌および閉経前乳癌を対象とした6ヶ月製剤の臨床第3相試験を開始
- VectibixはKRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸直腸癌治療において市場をリードする抗EGFR抗体



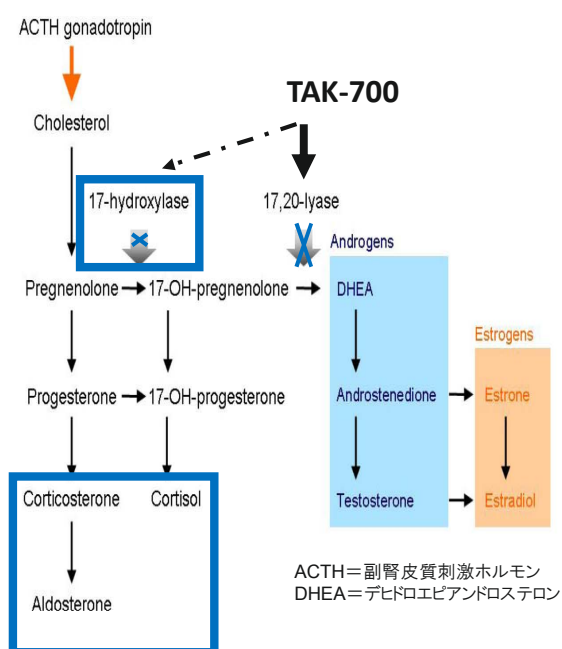
SGN-35 (brentuximab vedotin): ファーストインクラスのCD30抗体－薬物複合体



開発状況

- MAA承認は2012年度第2四半期に予定
 - 2011年第2四半期、Seattle Geneticの申請をFDAが承認
- 再発・難治性のホジキンリンパ腫および未分化大細胞リンパ腫において高い奏効率
- ライフサイクルマネジメント
 - 皮膚T-細胞リンパ腫
 - ホジキンリンパ腫(ファーストライン)
 - ホジキンリンパ腫の自己造血幹細胞移植後の再発予防
 - 成熟T-細胞リンパ腫(ファーストライン)
- ホジキンリンパ腫、未分化大細胞リンパ腫にかかわらず、CD30を発現する患者を特定するための併用診断薬を研究
 - Ventana Medical Systems, Incとの連携

TAK-700 (orteronel): ベストインクラスになりうる17,20リアーゼ阻害薬



開発状況

- 2014年度承認を目標 - 日本においてファーストインクラスとなる可能性
 - 他の主要地域の転移性去勢抵抗性前立腺癌(mCRPC)においてbest-in-classとなりうるファスト・フォロワー
- 化学療法未実施、および化学療法後のmCRPCを対象とした2件のグローバル臨床第3相試験: 最終患者投与は2012年
 - グローバル臨床第3相試験への日本人の登録は2012年2月に開始
- ステロイド剤非投与試験結果は2012年米国臨床腫瘍学会(ASCO)で発表予定

1. Yamaoka M, et al. AACR 2010 (oral presentation)
 2. Mostaghel EA, et al. Best Pract Res Clin Endocrinol Metab 2008;22:243-58
 3. Yamaoka M, et al. EORTC-NCI-AACR 2010 (Abstract #163)
 4. Agus DB, et al. ASCO 2011 (Abstract #4531)

MLN8237 (alisertib) : ファーストインクラスの経口 オーロラA阻害薬



ASH 2011データ¹

Alisertib: 組織所見別の奏効率 (PR+CR)

カテゴリー	奏効例数N(%)
T-細胞リンパ腫	4 (57%)
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	3 (20%)
マントル細胞リンパ腫	3 (23%)
濾胞性リンパ腫から進展したリンパ腫	2 (40%)
バーキットリンパ腫	1 (100%)

1. Friedberg J, et al. ASH 2011 (oral presentation)

開発状況

- 2014年度承認を目標
- 2012年3月、再発・難治性の末梢性T細胞リンパ腫を対象とした臨床第3相試験を開始
- 血液癌および固形癌を対象に、単剤として、また併用療法 (taxanes、rituximab、vincristine) の一部としての有効性を評価
- 感受性／抵抗性のバイオマーカーを探索中

MLN9708 (ixazomib citrate) : ベストインクラスかつ 明確に差別化された初めての経口プロテアソーム阻害薬



ASH 2011 Data¹

MLN9708: 奏効率

奏効率	N(%)
ORR	15 (100%)
CR	3 (20%)
VGPR	6 (40%)
PR	6 (40%)

ORR: Objective Response Rate: 奏効率
CR: Complete Response: 完全寛解
VGPR: Very Good Partial Response: 非常に良い部分寛解
PR: Partial Response: 部分寛解

1. Berdeja J., et al. ASH 2011 (oral presentation)

開発状況

- 2015年度承認を目標; 米国における VELCADE 特許満了は2017年
- 再発・難治性多発性骨髄腫を対象とした臨床第3相試験は2012年度上期に予定
- 単剤療法または合剤としての忍容性は概ね良好で、VELCADEとは副作用プロファイルが異なる
- 再発・難治性多発性骨髄腫 (MM) および再発性アミロイドーシスにおける単剤として奏功の可能性
- 新たに診断されたMMにおけるデータは、lenalidomide および dexamethasone との相乗作用を強く示唆 - 3剤による経口合剤の可能性

日本における臨床第3相試験¹



AMG 386

- ・ファーストインクラスのペプチボディー:アンジオポエチンを阻害
- ・卵巣癌に関する臨床第3相試験を実施中
 - ・ファーストラインでのcarboplatinおよびpaclitaxelとの併用
 - ・セカンドラインでのpaclitaxelとの併用

AMG 479 (ganitumab)

- ・ヒト型モノクローナル抗体:IGF-1およびIGF-2の結合を阻害
- ・転移性前立腺癌のファーストラインに関する臨床第3相試験実施中

AMG 706 (motesanib)

- ・VEG-F、PDGFRおよびC-キットの経口低分子阻害薬
- ・進行性非扁平上皮型非小細胞肺癌に対する臨床第3相試験を実施中

1. Amgen化合物:海外ではAmgen社が開発

パイプライン承認年度見通し



FY12	FY13	FY14	FY15-FY16
Alogliptin, Alogliptin/Pioglitazone Alogliptin/Metformin ・DPP-4阻害薬 ・2型糖尿病	Lu AA21004 ・多重作用メカニズム型抗うつ薬 ・気分・不安障害	TAK-700 ・17,20リアーゼ阻害薬 ・去勢抵抗性前立腺癌	TAK-875 ・GPR40作動薬 ・2型糖尿病
Teduglutide ・GLP2アナログ製剤 ・短腸症候群	ATL-962 ・リパーゼ阻害薬 ・肥満	MLN0002 ・ヒト化抗体 ・潰瘍性大腸炎およびクローン病	MLN9708 ・第2世代プロテアソーム阻害薬 ・多発性骨髄腫
TAK-085 ・EPA・DPA製剤 ・高脂血症	Lurasidone ・非定型抗精神病薬 ・統合失調症および双極性I型うつ病	TAK-438 ・P-CAB ・酸関連疾患	MLN4924 ・NEDD8活性化酵素阻害薬 ・血液癌
SGN-35 ・CD30モノクローナル抗体薬物複合体 ・血液癌		MLN8237 ・オーロラAキナーゼ阻害薬 ・血液癌および固形癌	TAK-385 ・LH-RH拮抗薬 ・子宮内膜症、子宮筋腫、前立腺癌
		SYR-472 ・DPP-4阻害薬 ・2型糖尿病	TAK-816 ・Hibワクチン
		AZILVA/CCB ・高血圧	TAK-361S ・4種混合ワクチン
			In-house In-license

本表は、各化合物の最初の承認年を示す

地域別パイプライン承認年度見通し



	FY12	FY13	FY14	FY15-FY16
JP	TAK-085	ATL-962	SYR-472 AZILVA/CCB TAK-700 SGN-35	Lu AA21004 TAK-438 TAK-875 TAK-361S MLN9708 TAK-816 MLN0002 TAK-385
US	SYR-322 SYR-322 /MET ² SYR-322 /Pioglitazone	Lu AA21004	MLN8237 TAK-700 MLN0002	MLN9708 TAK-875 MLN4924
EU CAN	SGN-35 Teduglutide Ferumoxytol ⁵	SYR-322 SYR-322 /MET ² SYR-322 /Pioglitazone Lurasidone ³	TAK-390MR Peginesatide TAK-491/CLD ⁴ TAK-700 MLN0002	TAK-875 MLN4924
EM ¹	新興国市場においては、SYR-322、TAK-491、MEPACT、TAK-375、TAK-390MR、DAXAS、SGN-35などの化合物を上市予定			
		¹ 新興国市場。本表は市場における各化合物の初めての承認年度を示す。 ² Metformin, ³ EU製品名(未定), ⁴ Chlorthalidone, ⁵ EU MAA	In-house	In-license

研究開発の意義



タケダは、患者さんのアンメットメディカルニーズに
 応えるべく、研究開発資源を投入し、革新的な
 医薬品の創出に挑戦し続けます

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



武田薬品工業株式会社